

# 通 告 質 問 一 覧 表

(平成29年3月定例市議会)

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	7	11 番 宮 田 好 夫	<p>1 来年度予算の収入について</p> <p>(1) 国は地方交付税の算定に当たり、トップランナー方式を検討し一部導入しているが、本市への影響はどうか</p> <p>(2) トップランナー方式では、多くの業務で民間委託等への考え方が出ている。市はどのような対応を考えているのか</p> <p>(3) ふるさと納税の収支状況はどうか</p> <p>(4) ふるさと納税制度でいただいた寄付金の使途はどのように考えているのか</p> <p>2 防災ラジオについて</p> <p>(1) 来年度から運用が開始される防災ラジオを公共施設等に配備するとあるが、具体的にどの施設なのか</p> <p>(2) 高齢者等の情報弱者には登録料の減免を考えているとあるが、具体的にはどのようになるのか</p> <p>(3) 防災情報以外（例えば防災行政無線の定時放送のような内容）の情報は誰がどのように流すのか。また現在防災行政無線のない高梁地域、成羽地域はどうなるのか</p> <p>(4) 1 台のラジオで全ての地域の情報が入ってくるのか</p> <p>(5) 世帯で2 台以上の希望がある場合の扱いはどうするのか</p> <p>(6) 防災ラジオが故障した場合や不注意で破損させた場合はどうなるのか</p> <p>(7) 他市の事例では、防災ラジオは既存の屋外放送塔の設備を一部活用して利用できるが、本市で行わない理由は何か。コストの問題が主な理由なのか</p> <p>3 鳥獣対策について</p> <p>(1) 有害鳥獣駆除事業にある荒廃地整備に対する補助とはどのようなものなのか</p> <p>(2) 駆除強化・指導のための推進員を設置するとあるが、その業務と人員はどのようにになっているのか</p> <p>(3) 来年度から狩猟免許の取得に対する補助が充実されたが、以前から提起している猿の追い払い用の花火に対する補助は考えていないのか</p> <p>4 いきいき高齢者外出支援事業（バス・タクシー券）について</p> <p>(1) 4 月から高梁市街地と津川地域等は対象から外れることになった。代替手段をつくらないままの一方的な処置であり、こうなった経緯や理由の説明を求める</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
2	9	7 番 石 井 聡 美	<p>1 生活習慣病予防について</p> <p>(1) 高梁市が作成しているデータヘルス計画に掲載されているデータで平均寿命と健康寿命を見ると、男性では平均寿命は長いが健康寿命は国平均、女性ではどちらも国平均よりも短い。この数字をどう分析しているか</p> <p>(2) 主要死因としての糖尿病は2.4%だが、医療費の中では糖尿病9.7%、慢性腎不全（透析あり）が13.5%と合わせて23.2%となり4分の1弱を占めている。この原因をどう分析しているか</p> <p>(3) 同じデータでは、生活習慣病の指標となる血糖、HbA1c、LDLコレステロールの値が男女ともに国平均よりも高いが、この原因をどう分析しているか</p> <p>(4) 糖尿病は失明や慢性腎不全、心筋梗塞や脳梗塞のリスクを高める。近年の研究では、認知症の危険因子とも考えられている。糖尿病予防に力を入れることで、総体的に医療費を減らすことができるのではないか。高梁市の糖尿病を初めとした生活習慣病への対策を問う</p> <p>(5) 特定検診の受診率を上げるためにどのような対策をとっているか。医療現場と連携しつつ、生活習慣を見直すチェックシートをつくったり、家庭用の簡易検査キットを活用したりしてはどうか</p> <p>(6) 糖尿病予防を促進するために、健康情報を集約したサイトの立ち上げや、個人がデータを蓄積できる場所を市として提供してはどうか。ゲーミフィケーション的な仕組みで、特定検診受診へのモチベーションを高めることができるか</p> <p>2 教育現場へのICT機器導入について</p> <p>(1) 平成29年度、小中学校に導入が予定されているICT機器の詳細を問う</p> <p>(2) 授業の中でどう活用していくのか、方向性を問う</p> <p>(3) PCの導入は、プログラミング教育だけではなく、今後求められる創造性を培うための手段でもある。授業の中で、創造性を培うために、どのようなPCの利用を構想しているのかを問う</p> <p>(4) PCを使えば、素人でもクオリティーの高い作品が作られるが、それには相応の環境が必要になる。今後、そういった環境を整える予定はあるか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
2	9	7 番 石 井 聡 美	<p>3 インバウンド観光について</p> <p>(1) 岡山空港にTigerairが就航して、2016年には岡山市内のインバウンド人気上昇率が200%と伸びている。本市の状況はどうか</p> <p>(2) 台湾からの旅行客を伸ばすために、高梁市ではどのような施策を行っているか</p> <p>(3) 現地のニーズ調査や、インバウンド向けの観光メニューの開発、受け入れ側の態勢づくりをさらに進めるべきではないか</p> <p>4 高梁市公共施設等総合管理計画（案）の概要について</p> <p>(1) 現状で44%の過剰な施設があるということだが、どのような方法で削減していくのか方針を問う</p> <p>(2) 長寿命化、廃止、建てかえなど、どの施設をどんな方向性で進めていくのかは、いつどういった方法で決まるのか</p> <p>(3) 公共施設の維持管理は今後の行財政改革の中でも重要な課題となるが、維持費用の推移をどう計算しているのか。また、建てかえや、長寿命化、廃止する場合の費用を合わせた施設管理全体の費用をどう見積もっているのか</p>
3	4	16 番 宮 田 公 人	<p>1 行財政改革における一般会計からの繰り出し金と組織のあり方について</p> <p>(1) 第1次・第2次高梁市行財政改革大綱では、それぞれ「市民との協働によるまちづくりと、簡素で効率的な行財政システムの構築」、「後世に負担を残さない行財政システムへの転換」を基本方針、基本目標として取り組んできた。また、組織の観点からの取り組み項目として、組織の改革（第1次）、組織機構の再編と人材育成の推進（第2次）が取り上げられている。ここで、改めて平成21年度から平成28年度までの高梁市行政機構図を比較してみると、簡素な組織機構とは捉えがたい点もある。今後どのようにして簡素な組織機構を構築していくのか考え方を示すこと</p> <p>(2) 特別養護老人ホーム特別会計（鶴寿荘）については、平成24年度決算までは、一般会計からの繰り入れはほぼゼロであるが、平成25年度17,079,468円、平成26年度24,264,743円、平成27年度44,908,182円と急激に増加している。行財政改革の観点から今後どのように対応していくのか示すこと</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
3	4	16 番 宮 田 公 人	<p>2 成羽病院の改革プランと病床転換のあり方について</p> <p>(1) 成羽病院では総務省の示す「新公立病院改革ガイドライン」に従って、2期目の公立病院改革プランを策定中である。新改革プランの内容は、①地域医療構想を踏まえた役割の明確化、②経営の効率化、③再編・ネットワーク化、④経営形態の見直しとなっている。これらについてどのようなプランを策定していくのか、現在の状況について示すこと</p> <p>(2) 医療型療養病床(25:1)は平成29年度で廃止となるが、4階の病床転換をどのような形で実施していくのか。現在の状況と今後の方向性を示すこと</p> <p>3 川上診療所を基軸とした地域包括ケアのあり方について</p> <p>(1) 川上診療所では菅原英次所長のもと、積極的な往診や訪問看護により地域包括ケアに取り組んでいる。この取り組みは「川上方式」と名づけられ、医学生生の教科書である「医療経済学・地域医療学」(浜田淳・齋藤信也 編著)にも掲載されている。こうした川上診療所の取り組みをどのように評価し、高梁市の地域医療にどのように生かしていくのか示すこと</p> <p>4 Uターンを促す「ふるさと回帰奨学金制度」の創設について</p> <p>(1) 高梁市では「高梁市奨学金貸付条例」、「高梁市看護師養成奨学金貸付条例」、「高梁市医学生奨学金貸付条例」など、経済的理由により就学困難な者、あるいは将来の医療従事者招聘のための奨学金制度を創設している</p> <p>子育て世帯の教育費負担の軽減や人口減少という観点から、将来のUターンを促すため、高梁市以外の学校に就学する大学生や専門学校生に対して、月額10万円程度の奨学金を創設し、Uターンの有無、卒業から高梁市に帰住するまでの期間と返済額をリンクさせた「ふるさと回帰奨学金」制度の創設はできないか。現在の奨学金制度の拡充も含め実現可能性について示すこと</p>
4	8	10 番 内 田 大 治	<p>1 「人・農地プラン」の取り組みについて</p> <p>(1) 農業者の高齢化、担い手不足により耕作放棄地は増大している。このような現状を解決するため「人・農地プラン」の取り組みを進めてきた本市の現状を問う</p> <p>① プランを作成して取り組む組織数、参加人数及び中心体人数について聞く</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
4	8	10 番 内 田 大 治	<p>② 取り組みを後押しするための5項目についての支援状況を聞く</p> <p>③ プランに取り組むことにより、中心体の確立、そして農地の集積、耕作放棄地の解消等各組織の取り組みを市はどのように認識しているのか</p> <p>④ 後押し機関である本市は今後どのように指導、支援していくのか</p> <p>2 町内会支援制度について</p> <p>(1) 町内会支援制度作成に至る現状をどのように認識して制度を作成したのか</p> <p>(2) 作成に当たりどのような手順を経て作成したのか</p> <p>(3) 高齢化と人口減、世帯数減で維持が難しい現状を金銭的支援が中心で人的支援がないこの制度で支援できるのか</p> <p>(4) 全町内会均一に支援をするのではなく、支援が必要な町内会に対応した支援をすべきではないか</p> <p>(5) 住み続けたいまちづくりに沿った支援制度を作成していただきたいがどうか</p>
5	10	5 番 石 部 誠	<p>1 米軍の日本原演習場単独訓練に反対の表明を求める</p> <p>(1) 米軍岩国基地に駐留する海兵隊が「日本原演習場において単独訓練を行いたい」との計画は、高梁市上空を飛行することも考えられると思うが、市として対応をどう考えるか</p> <p>2 立地適正化計画と町内会支援について</p> <p>(1) 立地適正化計画の説明会が開催されたが、その様子はどうだったのか（人数、意見）</p> <p>(2) 立地適正化計画は周辺部での影響が大きいので、町内会支援の説明とあわせて行うべきではないか</p> <p>(3) 高齢者や一人暮らし、地域活動、町内会活動が困難な人、地域を支える施策が望まれると思うが、今回の計画により市民生活はどのように改善されるのか</p> <p>3 国保税の引き上げについて</p> <p>(1) 審議会での論議内容はどうなっているか</p> <p>(2) 平成30年4月からの県統合により、加入者や市民負担はどう変わるのか</p> <p>(3) 今後の予算編成の考え方はどうなっているか</p> <p>(4) 今回の国保税の引き上げにより市民負担はどの程度になるのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
5	10	5 番 石 部 誠	<p>(5) 法定外の繰り入れをふやし市民負担を減らすことはできないか</p> <p>4 高梁市図書館について</p> <p>(1) 開館後の利用状況及び市民からの評価、また今後の見通しはどうか</p> <p>(2) 予算の削減目標はあるのか</p> <p>① テナント部分（蔦屋書店、スターバックス、観光物産販売所）には家賃を求めるべきではないか</p> <p>② 地元書店への影響はないのか。経営圧迫になっているのではないか</p> <p>(3) Tポイントの取り扱いについて</p> <p>① 貸し出しにはTポイントをつけないとしていたが、方針変更はいつどこでされたのか。また、その理由は何か</p> <p>② CCCに対する利益供与になっていないか</p> <p>③ 貸し出しによるTポイント付与は情報流用・外部流失につながるので、即刻やめるべきではないか</p> <p>(4) 市民参加型に移行してほしいが、今後の計画はあるのか</p> <p>5 西山高原キャンプ場について</p> <p>(1) 老朽化で廃止された遊具、トイレ、シャワー、コテージ、バンガロー7棟が存在する場所の現在の取り扱いと今後について</p> <p>① ピースワンコ・ジャパンとはどんな団体か</p> <p>② 市との関係、契約の中身はどうなっているのか</p> <p>③ レジャー施設としての機能は残るのか</p> <p>④ 収容された犬の取り扱いと糞尿などの環境管理はどうなっているか</p> <p>⑤ 市と直接契約を結び地元合意、環境整備などもクリアし、本来のレジャー施設として今後の発展をのぞむ</p>
6	2	1 番 森 和 之	<p>1 新図書館について</p> <p>(1) 新図書館開館に伴い時間帯によっては、駅前に交通混雑が生じている（歩行者の道路横断など）</p> <p>① 東側駐車場の利用が少ないのが問題ではないのか</p> <p>② 警備員の費用は指定管理料から払われているのか</p> <p>(2) 図書館4階のオープンスペース道路側のガラス壁の高さが低いのではないかと（転落防止対策と安全面の改善について）</p> <p>(3) エレベーターに救急用のストレッチャーが入らないのだが、疑問を感じなかったのか（消防署から要望はないのか）</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
6	2	1 番 森 和 之	<p>(4) 複合施設のガラスにペアガラスを使用していない、その理由は何か（冷暖房費に影響しないのか）</p> <p>2 認定こども園について</p> <p>(1) 成羽高校跡地に平成 31 年 4 月より認定こども園が開設される。他の地域においても、こども園の開設が急務であると考えているが、考えを聞きたい</p> <p>3 学童保育利用者（子育て世代）の声について</p> <p>(1) 高梁保育園、高梁小学校学童保育にて送迎時間の設定に不満の声が多く聞こえる。駐車場所の不便さと合わせて対応を聞きたい</p> <p>(2) 幼稚園と保育園、小学校と学童保育、一番の問題点は行政の縦割りによるものではないのか</p> <p>4 市内に残る近代化遺産について</p> <p>(1) 最近盛り上がりを見せる吉岡銅山（坂本地区）、芳賀芙蓉軒（大工町）、2つの遺構の保存整備が急務であると考えますが、考えを聞きたい</p> <p>5 お産について</p> <p>(1) 庁舎、駅前複合施設と立派な施設ができる反面、お産ができる施設がなぜできないのか</p> <p>6 駅前整備について</p> <p>(1) 駅前の整備が備中高梁駅では行われたが、備中広瀬、木野山、備中川面、方谷などで行われる計画はあるのか</p> <p>7 新設される鳥獣害対策の専門部署について</p> <p>(1) 待ったなしの鳥獣害において専門部署の設置はすばらしい取り組みだと思うが、事務的な部署では駄目だと考える。職員の狩猟免許取得（現場に出向いてのわな設置など）を期待するが、どのような取り組みをするのか聞きたい</p>
7	1 1	4 番 森 上 昌 生	<p>1 高梁市図書館について</p> <p>(1) 高梁市図書館はどのような図書館を目指すのか</p> <p>(2) なぜ、図書館としてメインフロアであるべき3階にトイレを設置しなかったのか</p> <p>(3) 図書館の職員数と人員配置はどうなっているのか。また書店との職員の峻別はどうしているのか</p> <p>(4) 図書館を運営する上で市民ボランティアの受け入れはあるのか</p> <p>(5) 図書館内で高梁の歴史や文化を継続して紹介するコーナーを設ける必要があるのではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	11	4番 森 上 昌 生	<p>(6) 図書館のレファレンスサービスについて、現状はどのようなサービスが行われているのか</p> <p>(7) 起業や卒業論文作成などに対するレファレンスサービスも必要ではないか</p> <p>(8) 今後、5年間で図書館の指定管理委託料が増額するようなことはないのか</p> <p>(9) 公共の図書館において民間利益につながるTポイントカードを受け入れることに問題はないのか</p> <p>2 地域おこし協力隊について</p> <p>(1) 人材選定と派遣地域選定の基準はあるのか</p> <p>(2) 協力隊はどんな活動をしているのか</p> <p>(3) 活動の検証や市民への周知はなされているのか</p> <p>(4) 地域住民がどういった評価をしているか把握できているのか</p> <p>3 野良猫対策について</p> <p>(1) 野良猫の実態調査を行っているのか</p> <p>(2) 野良猫対策では市民との協力で解決していかなくてはならないと答弁されたが、どのような取り組みを進められているのか</p> <p>(3) 市として野良猫をふやさないための避妊手術への助成制度や啓蒙、広報が必要だと思われるが、具体的な対策はあるのか</p> <p>4 商家資料館について</p> <p>(1) 商家資料館の施設利用について、資料館の奥側部分を有効に活用できないか</p> <p>(2) 商家資料館トイレの改修は考えていないのか</p>
8	1	15番 川 上 博 司	<p>1 障害者支援について</p> <p>(1) 障害者雇用をどのように推進していくのか</p> <p>(2) ヘルプカード・ヘルプマークの内容と効果をどのように捉えているのか。今後、普及を促進していくべきではないか</p> <p>(3) 障害者差別解消法の施行に伴う本市の取り組みはどうなっているのか</p> <p>2 教育保育施策の充実について</p> <p>(1) 高梁保育園の老朽化にどのように対応していくのか</p> <p>(2) 高梁幼稚園と高梁南幼稚園の再編、認定こども園の設置についてはどのように対応していくのか</p>



順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
8	1	15 番 川 上 博 司	<p>3 オリジナル婚姻届の作成とウェルカムボードの設置について</p> <p>(1) 結婚を祝う仕組みづくりの一つとして高梁市版オリジナル婚姻届の作成とウェルカムボードの設置に取り組むべきではないか。</p> <p>(例) 京都市オリジナル婚姻届 (例) 常陸大宮市ウェルカムボード</p>
9	6	2 番 平 松 賢 司	<p>1 本市農産物の地産地消の推進について</p> <p>(1) 市の公共施設等を初め、市内における地産地消の現状を問う</p> <p>(2) 地産地消を一層推進するための J A や生産団体を含めた推進組織を立ち上げてはどうか</p> <p>(3) 推進組織の立ち上げと運営及び計画づくりに必要な予算を計上して行政が率先して推進すべきと思うがどうか</p> <p>2 防災ラジオ導入に当たって</p> <p>(1) 防災情報設備は、登録料も含め全世帯に無料で導入すべきではないか</p> <p>(2) 放送内容は全市共通の防災情報とともに地域局別の生活情報も充実させて放送すべきではないか</p> <p>(3) 屋外放送塔設備は存続、拡充させるべきではないか</p> <p>3 水道料金について</p> <p>(1) 水道料金の引き上げにより市民の負担はどのようになるのか、その金額を問う</p> <p>(2) 水道料金の引き上げでなく、当面簡易水道料金を上水道料金まで引き下げて、市内同一料金にすることが必要ではないか</p> <p>(3) お年寄りや学生たちで使用水道量が 5 立方メートル以下の世帯は料金軽減を図るべきではないか</p> <p>(4) 水道料金引き下げに伴う財源が必要ならば、一般会計からの繰入金補填措置をしていくべきではないか</p>
10	3	3 番 伊 藤 泰 樹	<p>1 児童、生徒の安全確保</p> <p>(1) 通学路の安全確保に向けた高梁市の方針を伺いたい</p> <p>(2) 通学路の通学児童・生徒のための街路灯整備が必要と考えるが、道路管理者の問題とか、町内会でとかいうのではなく、市が子供を守るんだという強い発信はできないのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
10	3	3 番 伊 藤 泰 樹	<p>2 県南部都市への交通利便性の向上</p> <p>(1) J R 備中高梁駅から岡山、倉敷に通学する高校生・大学生、また通勤に使う社会人に対して、通勤快速の要望や特急料金の一部または全部の助成は考えられないか（定住化施策として）</p> <p>① 高梁市から市外へ J R を利用して通学する高校生の実数は把握されているか</p> <p>3 地域の伝統文化継承のための活動の拡大</p> <p>(1) 地域人口の減少に伴い地域の伝統芸能・文化が消滅しつつある。地域の伝統芸能・文化を保護すること、それはできないにしても継承の手段を模索することは、未来へ羽ばたく子供たちに郷土愛、ふるさとを情操する上で必要と思うが、それに対する考えはあるのか。また、記録媒体に残す活動はされないのか伺いたい</p> <p>(2) 地域の偉人、文化、芸能を児童生徒に伝える活動が、将来の高梁市を考える上で必要と思われるが、どのような考えか伺いたい</p> <p>4 子育て家庭の負担軽減</p> <p>(1) 子供を学校に通わせながら、親の介護をしておられる家庭がある。家で介護をしている場合もあるし、施設を利用している場合もある。子供が親の介護が必要になったとき、介護することは至って当たり前のことかもしれない。しかし、子育て世帯にとって親の資産だけで賄えればいいが、そうでない場合もあると聞く。このような子育て世帯の負担に関しての考えを伺いたい</p> <p>① ゼロ歳～18歳と65歳以上で要介護3以上が同一の世帯は何世帯か</p> <p>② ①のうち居宅サービスを受けている世帯は何世帯か</p> <p>③ ①のうち施設サービスを受けている世帯は何世帯か</p> <p>④ 特別養護老人ホーム利用料金は、高梁市内でおおよそいくらなのか</p>
11	5	12 番 小 林 重 樹	<p>1 高梁地区における地域包括ケアシステムと地域医療構想について</p> <p>(1) 晴れやかネットの進化版である「やまぼうし」について、現状と今後の課題と市としての取り組みを問う</p> <p>(2) 地域医療構想における病床数の削減と高梁市の取り組みについて問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
11	5	12 番 小 林 重 樹	<p>(3) 「やまぼうし」と地域医療構想の関連性及びマッチングはどのようにするのか問う</p> <p>2 高梁市図書館について</p> <p>(1) 高梁の玄関口に立つシンボルとして市内外からも注目を浴びている高梁市図書館がオープンして約1カ月経過したが、その間の入場者数及び図書の貸し出し数は、どれくらいになるのか</p> <p>(2) 集い、憩い、交流、勉強の場としての図書館の目的のため、図書館協議会を設置していると思うが、この協議会の運営母体はどこか。また協議内容はどのような内容か。開催頻度は年何回程度になるのか</p> <p>(3) 子供たちや学生が楽しみにしていた図書館であるが、この図書館を使った授業をすることができないか</p> <p>(4) 高校生への図書館利用者カード発行を簡素化できないか</p> <p>3 平成29年度予算概要について</p> <p>(1) 予算編成の基本方針の中で、10年先の高梁を見据えてさまざまな重点施策に取り組み、後年度の財政の影響にも十分配慮した予算編成を行ったとしているが、それはどのような施策、事業なのか</p> <p>国の交付金等の財政措置を最大限に活用するとしているが、どのような交付金か</p> <p>(2) 特別会計予算において、社会保障に関する費用が増加傾向にあるが、将来的に人口が減少する中でもふえ続けるのか</p> <p>(3) 財政運営が厳しさを増していく中で、財源確保のため何か特別な施策を考えているのか</p>